

学校評議員会実施報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校長 織田 龍美

学校住所 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

- 1 会の名称 岐阜本巣特別支援学校 学校評議員会
- 2 会の構成 委員 高橋 武夫 もとす広域連合 療育医療施設幼児療育センター長
筑間 敦子 地域ボランティア、本巣小学校茶道講師
早川 忠利 西秋沢地区自治会長
松尾 綾子 本巣市本巣民生児童委員
真野 賢児 社会福祉法人あしたの会 どんぐり村福祉工場長
(委員名は五十音順)
学校側 臼井 美江子 P T A会長
織田 龍美 校長
青木 咲子 教頭
高木 裕之 事務長
林 亨 小学部主事
坂口 浩之 中学部主事
児玉 芳廣 高等部主事
山内 明志 教務主任
大前 裕子 地域支援センター長
- 3 会の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。
- 4 会の開催 平成21年11月12日(木)午後1時～3時 岐阜本巣特別支援学校校長室
委員4人(筑間委員欠席)と学校側9人が出席
- 5 会の概要
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 運動会(10月3日実施)のビデオ視聴
 - (3) 全体会議

学校評議員及び保護者アンケート集計結果について
教員の資質向上について
当校の特色ある教育活動について

意見1 支援センター長は組織上どこに属しているか。

学校側 本校の教員が、校務分掌の1つとして校内外の支援、相談業務を行っている。外部職員が来てやっているわけではない。

意見2 アンケート結果で、8割以上評価を受けているのはよいことである。いじめ、体罰があるとする回答について、だれが回答したか把握しているか。

学校側 アンケートは無記名で行っているが、いじめ、体罰については回答者の学部はわかっている。学校としていじめや体罰について指摘を受けることは本来あってはならないことであり、襟を正して教育活動に当たっていききたい。

意見3 アンケート結果を20年12月のものと比較しているが、同じ質問で行っているか。

学校側 比較するため、すべて昨年と同じ質問で行っている。40問中30問は教育委員会の指定による県内同一の設問である。

高等部・中学部の作業製品の価格について

意見1 提案された製品の価格は、すべて妥当なものである。

意見2 学校祭以降にセミナーハウスで始めるという喫茶コーナーが楽しみである。

意見3 販売品にエコバッグ等の袋物があるとよいと思う。印刷の工夫で学校の宣伝にもなる。

学校側 本日価格審査していただいた他に収穫される農作物や新たな製品については、市場価格等を参考に主事会で価格を決めさせていただきたい。

学校側からの情報提供 小学部は網代小学校と個別の関わりを重視した交流学习を行っている。

中学部は本巣中学校、岐北中学校との交流学习を行っている。高等部では、環境衛生班が樽見鉄道の車両の清掃活動を、2年生が本巣駅やほたる公園の清掃活動を行う。

11月15日から学校周囲の山の鳥獣保護区指定が解除され、狩猟可能地域になる。

提言

意見1 運動会のビデオを視て、学校行事はとても大切だとあらためて感じた。学校での自信を持って取り組む姿やよい思い出が、将来にわたって自信を持って生きる力につながる。高等部の生徒たちにとっては当校がおそらく最後の学校生活となる。学校時代により経験ができるよう一つ一つの行事を大切にしてほしい。

意見2 手品のできる人がボランティア登録した。サマースクールなどで子どもたちにも見せたいと思っている。

意見3 9月に環境衛生班の清掃活動で公民館の窓拭き掃除をしっかりとってもらった。フローリングの掃除もできるということなので、今後もよろしくお願ひしたい。喫茶コーナーについては、地域住民で利用させてもらうことがあると思う。

意見4 アンケート結果では高い評価が得られている。周囲からは当校に対する苦情を聞いていない。当校への就学について自信を持って勧めていきたい。

質疑応答

意見1 学校祭の案内はいつごろになるか。

学校側 案内は早急に回覧させていただきたい。ポスターの掲示もお願いしたい。

6 会のまとめ

評議員の方々には、ビデオ視聴を通して本校の児童生徒の実態と総合型の特別支援学校としての特色を生かした行事の取り組みを見ていただき、その後貴重な御提言をいただいた。第3回の学校評議員会があるので、その後の教育活動の状況について進展を御報告し、さらにご意見をいただきたい。